件　名	**防災情報の多言語対応に関する取り組み**	問合せ	**市民協働推進課　内線 638** **安全対策課　内線 258**

内　　容

全国的に在留外国人が増加していますが、本市もコロナ５類移行後から増加しており、令和７年４月１日現在で 983 人と過去最多を更新しています。在留外国人も市民であることから、必要な生活情報が、多言語でややさしい日本語で行き届く必要がありますが、特に防災情報は、自助の観点からも外国人自ら情報を得ることが重要です。

山梨県運営「やまなし防災ポータル」は、土砂災害情報、地震情報、避難情報などを８言語で閲覧することができ、在留外国人にとっても有用です。防災情報が閲覧しやすく、また必要な情報にたどり着きやすくなることを目的に、４ 月末より市公式ホームページに「やまなし防災ポータル」へのリンクを８言語で掲載しており、開くとすぐに当該言語で情報を閲覧できるようにしました。

在留外国人に積極的に活用していただくと共に、災害や防災に対する意識の啓発に繋がることを期待しています。また、市民協働推進課国際担当で把握している、外国人従業員を雇用している市内の約６０事業所に対し、本件に関する通知を発送しました。

※８言語…①英語、中国語（②簡体字・③繁体字）、④韓国語、
⑤インドネシア語、⑥タイ語、⑦ポルトガル語、⑧フランス語

【市公式ホームページからの閲覧方法】

(1)[くらし]-[多文化共生・外国人住民の方]-[防災の情報（ぼうさいのじょうほう）]のページに「やまなし防災ポータル」のリンクがあり、８言語で掲載しています。

(2)リンクを開くと、当該言語で「やまなし防災ポータル」を閲覧できます。